

3. 共催展など

平成28年度 岐阜県青少年美術展

会 期 【青年部】2016(平成28)年6月16日(木)～6月19日(日)

夜間開館日 6月17日(金)

【少年部】2016(平成28)年6月23日(木)～6月26日(日)

会 場 岐阜県美術館

主 催 岐阜県

共 催 高山市、多治見市

後 援 岐阜県教育委員会、(一社)高山市文化協会、(公財)多治見市文化振興事業団、岐阜県高等学校文化連盟

岐阜県美術展は、本県の美術の普及と創造的表現力の開拓のために、広く県内外から作品を公募し、一般に公開するものである。

応募点数および入賞入選点数

【青年部】

応募点数 1,608点(絵画200点、デザイン215点、立体造形33点、書道785点、写真375点)

入選入賞点数 225点(絵画30点、デザイン32点、立体造形8点、書道99点、写真56点)

部 門	応募点数	優秀賞点数	入選点数	展示点数 (優秀賞+入選)
絵 画	200	6	24	30
デザイン	215	6	26	32
立体造形	33	2	6	8
書 道	785	23	76	99
写 真	375	11	45	56
合 計	1,608	48	177	225

【少年部】

応募点数 38,868点(絵画・デザイン36,443点、書写2,425点)

入選入賞点数 888点(絵画・デザイン717点、書写171点)

部 門	区 分	参加者数	優秀点数	入 選	展示点数 (優秀賞+入選)
絵 画 デザイン	幼・保	6,743	28	108	136
	小学校	21,306	55	363	418
	中学校	8,394	24	139	163
書 写	幼・保	142	3	6	9
	小学校	1,900	27	91	118
	中学校	383	11	33	44
合 計		38,868	148	740	888



青年部



少年部

ミラノ・サローネCASA GIFU展

会 期 平成28(2016)年8月16日(火)～8月28日(日)

会 場 岐阜県美術館 多目的ホール

主 催 岐阜県

観覧者数(トークイベント含む) 3,730人

観覧料 無料

県ではかねてより海外デザイナーと連携した新しい県産品の開発、海外展開を支援しており、その一環として平成28年4月、イタリア・ミラノで開催された、世界最大規模の国際見本市「ミラノ・サローネ」に全国で初めて自治体として出展した。

見本市では、スイスの著名デザイナー兼建築家であるパトリック・レイモン氏が代表を務めるatelier oi(アトリエ・オイ)社のデザインのもと、「CASA GIFU(カーサギフ)」「岐阜の家」という意味と銘打ったギャラリーに、本美濃紙のインスタレーション、美濃和紙のあかり、飛騨の家具を配したライフスタイル空間として展示した。

岐阜県美術館ではその帰国展として「ミラノ・サローネCASA GIFU展」を開催した。



IAMAS ARTIST FILE #04

ALIMO・若見ありさ 「描く・動く／芸術とアニメーション」

開催日 2017(平成29)年3月4日(土)、3月5日(日)

会場 岐阜県美術館 講堂

主催 情報科学芸術大学院大学(IAMAS)、岐阜県美術館

入場者数 84人

観覧料 無料

IAMAS ARTIST FILEとは、情報科学芸術大学院大学(IAMAS)に関係するアーティストを、岐阜県美術館にて紹介する、2013年から始まったシリーズ。

4回目の今回はIAMAS卒業生のALIMO(ありも)と、若見ありさによる、アニメーション作品の上映とトークセッションを行った。ALIMOは、「アニメーション・タブロー」という方法論を用い、描くことと消すことの繰り返しによって、描いた痕跡が画面に積み重なっていく特徴を持つ2004年から2013年までの作品8本を上映。若見は、企画総監督という立場から、自身の砂絵アニメーションを含む、荒井知恵、こくまあつこによる3編の作品「Birth-つむぐいのち」を上映。女性監督自らの出産体験を、それぞれの表現によって映像化している。

上映後、4日にはALIMO、5日には若見に加え、両日ゲストに「シアターカフェ」を運営する林緑子を招き、美術館担当学芸員と共に、作家とその作品についてトークセッションを行った。

作家名(担当)	作品名	制作年
ALIMO	園	2004
	A WHITE HOUSE IS FAR	2005
	Chandelier	2006
	リーゾー	2007
	notice Bhim	2009
	人の島	2011
	開かれた遊び、忘れる眼	2012
	WHITE	2013
若見ありさ(企画・総合監督)	Birth - つむぐいのち	2015
荒井知恵・こくまあつこ・若見ありさ(監督・アニメーション)		



4. 移動美術館

趣旨

岐阜県美術館は、県民に親しまれ、開かれた美術館としての活動をより幅広く推進するため、開館2年後の1984(昭和59)年より「岐阜県移動美術館実施要綱」に基づいて移動美術館を実施している。

この移動美術館は、県民が岐阜県美術館の収蔵作品を均等に鑑賞できるよう、飛騨・東濃地区等遠隔地域において開催するもので、郷土にゆかりのある作家や国内外の作家の名品を、各地域の施設において展示し、地域文化の振興に寄与することを目的としている。

第41回岐阜県移動美術館 「ひとをかくひと」

岐阜県美術館が所蔵する作品のうち、人物を主に描いた洋画・日本画の作品32点を紹介した。

会 期 2016(平成28)年9月17日(土)～10月23日(日)

会 場 みのかも文化の森 美濃加茂市民ミュージアム

主 催 岐阜県美術館、美濃加茂市民ミュージアム

出品点数 洋画・日本画 32点

観 覧 料 一般300円(200円)高校生以下、かるちすとくらぶ会員は無料()内は20名以上の団体料金

入場者数 883人

関連催事 ミュージアムフォーラム 「ひとをかくときー岐阜県美術館の所蔵作品を中心に」

日 時 9月24日(土)14:00～15:30

会 場 みのかも文化の森 研修室

講 師 土屋 禮一(日本画家)

ミュージアムトーク

日 時 9月25日(日)10:00～、10月8日(土)13:30～

会 場 展示会場

講 師 和歌 由花(美濃加茂市民ミュージアム学芸員)



移動美術館チラシ



出品リスト

No.	作家名	(生年-没年)	作品名	制作年	技法・素材	形状	寸法(cm)
1	山本 芳翠	(1850-1906)	福地源一郎の肖像	1876-77頃	油彩、画布	額装	54.8×43.0
2	藤島 武二	(1867-1943)	公子像	1920頃	油彩、板	祭壇様式風	46.0×33.2
3	窪田 喜作	(1874-1941)	農家	1900	油彩、画布	額装	89.1×112.0
4	渡部 審也	(1875-1950)	房州風景	1910-20頃	油彩、画布	額装	60.5×166.2
5	北 蓮蔵	(1876-1949)	薬打つ女	1931	油彩、画布	額装	105.0×84.0
6	大久保 作次郎	(1890-1973)	青物市場	1930	油彩、画布	額装	150.0×210.0
7	岸田 劉生	(1891-1929)	自画像	1914	油彩、画布	額装	45.5×38.0
8	鈴木 誠	(1897-1969)	アイロンかけ	1944	油彩、画布	額装	90.9×72.3
9	坂井 範一	(1899-1981)	腰かけた女	1948	油彩、画布	額装	60.6×72.7
10	大沢 昌助	(1903-1997)	夏の日	1938	油彩、画布	額装	145.5×112.1
11	坪内 節太郎	(1905-1979)	踊る	1949	油彩、画布	額装	90.0×71.5
12	山川 利夫	(1911-1986)	剣技	1976	油彩、画布	額装	162.5×130.5
13	北川 五郎	(1916-2004)	母の像(未完)	1946	油彩、画布	額装	70.9×58.0
14			父の像	1948	油彩、画布	額装	72.3×52.8
15	小笠原 宣	(1952-)	行商	1985	アクリル、画布	変形額	105.0×234.0
16	玉舎 春輝	(1880-1948)	北陸の朝市	昭和初期	絹本着色	二曲一隻屏風	206.8×174.8
17	篠田 柏邦	(1883-1969)	苗とり	1920	絹本着色	二曲一隻屏風	176.0×192.0
18			黄衣	1934	絹本着色	額装	134.5×185.5
19	前田 青邨	(1885-1977)	出羽海部屋(下図)	1963	紙本墨画、画巻	巻物	本紙39.0×568.0
20	川崎 小虎	(1886-1977)	聖書を持つ少女	1912-16	紙本着色	額装	68.0×41.0
21	佐々木 尚文	(1890-1970)	稚児文殊	昭和初期	絹本着色	軸装(双幅のうち)	126.5×41.5
22			江口普賢	昭和初期	絹本着色	軸装(双幅のうち)	126.5×41.5
23	長谷川 朝風	(1901-1977)	琉球二題 市舗(下絵)	1941	紙本着色・素描	額装	26.2×53.5
24			天草首夏(下絵)	1949	紙本着色・素描	額装	33.5×54.5
25			疎水長閑	1953	紙本着色・素描	額装	31.4×36.7
26	加藤 東一	(1916-1996)	残照の浜	1970	紙本着色	額装	174.0×216.5
27	長縄 士郎	(1923-)	店粧	1952	紙本着色	額装	175.2×223.8
28			古城	1969	紙本着色・素描	額装	42.7×39.8
29			暮れる	1979	紙本着色・素描	額装	40.7×28.6
30			涼	1966	紙本着色・素描	額装	52.3×37.0
31			浴室	1957	紙本着色(鉛筆・パステル)・素描	額装	50.0×34.0
32	土屋 禮一	(1946-)	Y子	1974	紙本着色	額装	116.6×90.8

5. スクールミュージアム

趣旨

美術館の教育普及活動をより実りのあるものにするためには、学校との連携が不可欠である。同時に学校現場から、美術館が蓄積する作品や知識、情報、人材等の提供への要望も高まっている。スクールミュージアムはそういった状況から平成17年度に始まり、今回で26校目となる。学校に美術館展示室を模した展示空間を設置し、本物の美術作品の鑑賞を通して児童生徒に作品の味わい方を伝える。

目的

- ・開催する学校の地域にも周知し、保護者や地域住民に鑑賞してもらい、学校を地域社会における文化の発信地とする。
- ・児童生徒が教科書や写真では味わうことのできない本物の美術品に感動する経験をし、美術館職員を通して確かな知識と作品を鑑賞する力を養う機会を提供する。
- ・学習指導要領解説では「教室内の学習のみならず、学校を取り巻く生活環境や自然豊かな場所、美術館・博物館等の施設や制作の現場など、活動の場を幅広く求めることが考えられる。」と、美術館との連携、効果的な活用が謳われていることから、学校現場における鑑賞教育等の推進に寄与する。

事業内容

- ・職員説明会 職員に対して事前にスクールミュージアムの意義等を説明する。また岐阜県美術館の紹介も兼ねる。
- ・展示 学校の教室を美術館と同じような雰囲気にし、作品を鑑賞してもらうために外光を遮蔽し、美術館で使用するクロスを張った展示パネルを設置する。そこに作品を展示し、美術専用のライトで照明をする。
- ・鑑賞方法 作者の心情や意図への共感と自己の気持ちや考えを表現する言葉を大切に、生徒の発言を交えながら職員の解説を聞く。
- ・開催日 平成28(2016)年11月1日(火)
- ・開催校 岐阜県立大垣北高等学校 美術室
- ・参加者数 生徒198人、一般・職員41人、合計239人
- ・展示作品 6点

作家名	作品名	制作年	種別	技法・素材	寸法(cm)
守屋 多々志	バラ	1959	日本画	紙本着色	60.0×50.0
長谷川 朝風	松王丸	1976	日本画	紙本着色	138.0×70.0
坂倉 新平	青の無伴奏	2000	洋画	油彩、画布	89.5×146.2
ロイ・リキテンスタイン	Sweet Dreams Baby	1965	版画	シルクスクリーン、紙	91.0×65.0
ロドルフ・プレスダン	善きサマリア人	1860-61	版画	リトグラフ、チャイナペーパー	56.5×44.3
天野 裕夫	ティオティワ壺カン	2002	彫刻	石、ブロンズ	50.0×57.0×50.0

成果と課題

音楽選択者と美術選択者の多い曜日を選んで実施。50分の授業を5コマ確保し、1クラス約40人を10人程度の4つのグループに分け、それぞれ作品をまわるという方法を取った。すべてのグループが6作品とも鑑賞することができた。美術館から近い学校だったので、1作品につき鑑賞指導者(職員)1人がつくことができた。そのため、対話型鑑賞で生徒同士の意見や感じ方を話し合いながら、また適切に解説を加えながら実施することができたため、生徒の満足度は高かった。「他の人の意見を聞くことで自分とは違う考え方が出てきて楽しかった」「今日話を聞いて、駅などで見る絵の見方も変わったので、改めて注意深く絵を見てみたいと思った」という感想もあった。

美術館から地理的に近い学校ということで、美術館へ過去に訪れたことのある生徒はかなりの数ではないかと予想していたが、アンケートの結果約2割であった。過去に訪れたことはないが行ってみたいと回答した生徒は61%という結果となり、スクールミュージアムの効果はあったと考えられる。

生徒アンケート

		斐太高校 (H26)		各務原養護学校 (H27.11.5)		大垣北高等学校 (H28.11.1)	
		人数	%	人数	%	人数	%
スクールミュージアムについて1	満足	232	83.8	42	89.4	126	66.3
	やや満足	44	15.9	4	8.5	60	31.6
	やや不満	1	0.4	1	2.1	3	1.6
	不満	0	0	0	0.0	1	0.5
スクールミュージアムについて2	楽しかった	248	52.1	42	58.3	168	54.9
	つまらなかった	1	0.2	0	0.0	2	0.7
	ためになった	72	15.1	10	13.9	51	16.7
	難しかった	13	2.7	1	1.4	16	5.2
	もっとゆっくり見たかった	85	17.9	15	20.8	31	10.1
	もっと聞きたかった	52	10.9	3	4.2	26	8.5
	長すぎた	0	0	1	1.4	2	0.7
	興味なし	2	0.4	0	0.0	9	2.9
	その他	3	0.6	0	0.0	1	0.3
作品の良かったところ	作品の色や形	145	32.3	34	44.2	101	35.6
	作品の表現内容	182	40.5	24	31.2	111	39.1
	作家の生き方考え方	54	12	10	13.0	35	12.3
	会場の雰囲気	64	14.3	7	9.1	31	10.9
	その他	4	0.9	2	2.6	6	2.1
解説者の話し方	よくわかった	221	79.5	37	80.4	153	77.3
	だいたいわかった	55	19.8	8	17.4	45	22.7
	わからなかった	2	0.7	1	2.2	0	0
高校生以下の観覧料無料について	知っていた	17	6.1	12	26.1	31	15.7
	知らなかった	260	93.9	34	73.9	167	84.3
美術館に行ったことが	ある	12	4.3	11	23.4	24	12.1
	ある。また行ってみたいと思う	6	2.2	4	8.5	16	8.0
	ないが行ってみたい	219	79.1	27	57.4	121	61.1
	ない。今後も行かない	40	14.4	5	10.6	37	18.7



全体説明



鑑賞教室1



鑑賞教室2

6. 観覧者数

所蔵品展示(常設展)観覧者数(四半期別/昭和57～平成28年度の年度別)

(単位:日、人)

区分	期日	日数	個人				団体				合計	共通券	招待免除	総計	1日平均	
			高校生以下	大学生	一般	計	高校生以下	大学生	一般	計						
所蔵品展 (常設展) (年度)	S57年度	S57.12.22～S58.3.31	78	2,859	1,269	18,712	22,840	166	141	1,686	1,993	24,833	-	113	24,946	319.8
	58年度	S58.4月～S59.3月	305	5,581	3,516	38,123	47,220	4,450	2,457	9,010	15,917	63,137	-	675	63,812	209.2
	59年度	S59.4月～S60.3月	308	3,931	2,406	31,730	38,067	2,859	1,114	6,748	10,721	48,788	-	1,940	50,728	164.7
	60年度	S60.4月～S61.3月	284	2,908	1,745	24,816	29,469	2,706	1,754	5,178	9,638	39,107	-	2,734	41,841	147.3
	61年度	S61.4月～S62.3月	301	2,546	2,027	26,661	31,234	3,132	1,510	4,204	8,846	40,080	-	4,328	44,408	147.5
	62年度	S62.4月～S63.3月	302	1,815	1,921	22,218	25,954	3,322	962	3,476	7,760	33,714	-	2,626	36,340	120.3
	63年度	S63.4月～H元.3月	235	1,419	1,336	18,183	20,938	1,988	135	2,668	4,791	25,729	-	1,827	27,556	117.3
	H元年度	H元.4月～H2.3月	302	2,143	1,945	29,804	33,892	3,149	1,637	6,532	11,318	45,210	-	4,072	49,282	163.2
	2年度	H2.4月～H3.3月	307	1,993	1,888	27,520	31,401	2,671	1,704	6,090	10,465	41,866	-	4,386	46,252	150.7
	3年度	H3.4月～H4.3月	303	1,218	1,497	21,247	23,962	153	1,016	5,961	7,130	31,092	-	14,319	45,411	149.9
	4年度	H4.4月～H5.3月	301	1,603	1,501	21,872	24,976	189	1,562	5,147	6,898	31,874	-	6,737	38,611	128.3
	5年度	H5.4月～H6.3月	301	2,158	1,289	17,081	20,528	-	1,317	3,924	5,241	25,769	-	7,950	33,719	112.0
	6年度	H6.4月～H7.3月	300	2,390	990	14,410	17,790	-	1,650	4,081	5,731	23,521	-	5,360	28,881	96.3
	7年度	H7.4月～H8.3月	304	1,373	976	15,324	17,673	-	1,098	4,196	5,294	22,967	-	7,325	30,292	99.6
	8年度	H8.4月～H9.3月	300	3,866	587	12,740	17,193	-	66	3,210	3,276	20,469	-	7,432	27,901	93.0
	9年度	H9.4月～H10.3月	300	10,409	557	11,390	22,356	-	110	2,687	2,797	25,153	-	4,171	29,324	97.7
	10年度	H10.4月～H11.3月	298	9,269	229	5,200	14,698	-	100	898	998	15,696	26,352	2,867	44,915	150.7
	11年度	H11.4月～H12.3月	305	6,472	208	4,654	11,334	-	28	697	725	12,059	42,129	2,383	56,571	185.5
	12年度	H12.4月～H13.3月	305	6,372	208	4,272	10,852	-	41	932	973	11,825	27,454	2,281	41,560	136.3
	13年度	H13.4月～H14.3月	305	4,051	177	3,120	7,348	-	0	516	516	7,864	19,447	2,071	29,382	96.3
	14年度	H14.4月～H15.3月	248	4,073	138	2,302	6,513	-	0	207	207	6,720	25,765	2,133	34,618	139.6
	15年度	H15.4月～H16.3月	306	8,442	206	3,986	12,634	-	19	460	479	13,113	23,074	3,015	39,202	128.1
	16年度	H16.4月～H17.3月	184	3,623	60	1,706	5,389	-	25	652	677	6,066	13,456	2,189	21,711	117.9
	17年度	H17.4月～H18.3月	307	6,925	291	7,103	14,319	-	20	700	720	15,039	16,225	5,615	36,879	120.1
	18年度	H18.4月～H19.3月	307	6,894	129	2,396	9,419	-	0	142	142	9,561	22,215	5,715	37,491	122.1
	19年度	H19.4月～H20.3月	308	15,659	165	3,936	19,760	-	44	844	888	20,648	73,006	7,406	101,060	328.1
	20年度	H20.4月～H21.3月	307	5,959	206	3,729	9,894	-	1	574	575	10,469	11,880	5,160	27,509	89.6
	21年度	H21.4月～H22.3月	279	3,907	317	7,349	11,573	-	0	970	970	12,543	9,579	3,745	25,867	92.7
22年度	H22.4月～H23.3月	307	4,784	165	3,297	8,246	-	0	473	473	8,719	16,504	4,200	29,423	95.8	
23年度	H23.4月～H24.3月	215	3,904	146	3,903	7,953	-	0	672	672	8,625	4,779	3,347	16,751	77.9	
24年度	H24.4月～H25.3月	305	7,189	197	4,143	11,529	-	0	675	675	12,204	25,817	5,942	43,963	144.1	
25年度	H25.4月～H26.3月	295	8,759	85	2,177	11,021	-	1	524	525	11,546	24,018	6,553	42,117	142.7	
26年度	H26.4月～H27.3月	295	5,452	156	3,204	8,812	-	33	486	519	9,331	17,033	6,106	32,470	110.0	
27年度	H27.4月～H28.3月	289	5,605	138	1,994	7,737	-	0	465	465	8,202	26,350	6,241	40,793	141.1	
28年度	H28.4月～H29.3月	300	5,075	274	5,212	10,561	-	3	924	927	11,488	11,061	5,598	28,147	93.8	
開館日からの累計			9,996	170,626	28,945	425,514	625,085	24,785	18,548	86,609	129,942	755,027	436,144	158,562	1,349,733	135.0

※平成7年度までは、「高校生以下」欄を「小・中学生」、「大学生」欄を「高校・大学生」として集計していた。

※平成5年度からは、高校生以下の団体鑑賞者数を集計せず、すべて個人鑑賞者としてカウントしている。

企画展観覧者数

(単位:日、人)

展覧会名	期 日	日数	個人			団体			合計	小中高生	免除招待	総計	1日平均
			大学生	一般	計	大学生	一般	計					
平成28年度 岐阜県美術展(青年部)	6.16~6.19	(4)										(3,312)	828
平成28年度 岐阜県美術展(少年部)	6.23~6.26	(4)										(5,258)	1,315
北海道立近代美術館 コレクション ゆるり日本画 絵の中の旅	7.9~8.21	38	88	4,244	4,332	0	182	182	4,514	893	2,506	7,913	208
アートまるケット 日比野克彦ディレクション 「ながれミながら」	7.16~9.25	62										39,027	629
フランスの風景 樹をめぐる物語	8.30~10.16	42	184	6,395	6,579	4	657	661	7,240	1,444	2,868	11,552	275
知られざるプライベート コレクション ジャパン・ビューティー —描かれた日本美人—	10.27~12.11	40	66	3,402	3,468	28	31	59	3,527	1,154	3,776	8,457	211
合 計		(8) 190	338	14,041	14,379	32	870	902	15,281	3,491	9,150	(8,570) 75,519	397

所蔵品拡大展観覧者数

(単位:日、人)

展覧会名	期 日	日数	個人			団体			合計	小中高生	免除招待	総計	1日平均
			大学生	一般	計	大学生	一般	計					
所蔵品展示 ナンヤローネNo.0	4.1~6.5	57	79	1,630	1,709	0	336	336	2,045	805	563	3,413	60
飛騨美濃合併140周年記念 つながる ひろがる はながのみりよく 岐阜の版画	H29. 1.12~2.26	40	49	1,617	1,666	1	260	261	1,927	486	732	3,145	79
合 計		97	128	3,247	3,375	1	596	597	3,972	1,291	1,295	6,558	68

※合計欄の()内の日数及び人数は、岐阜県美術展の内数である。

※所蔵拡大展の観覧者数は所蔵品展示の観覧者数に含まれる。

事業別観覧者(参加者)数

(単位:人)

年度	所蔵品展示室	企画展示室	教育普及事業	県民ギャラリー等	美術館入館者数	移動美術館等	美術館利用者総数
16	21,711	54,943	5,447	68,644	150,745	9,294	160,039
17	36,879	61,443	11,339	87,958	197,619	9,361	206,980
18	37,491	92,112	8,228	85,732	223,563	4,910	228,473
19	101,060	171,537	6,139	95,635	374,371	4,735	379,106
20	27,509	49,893	5,588	81,497	164,487	2,546	167,033
21	25,867	41,237	11,805	81,656	160,565	1,289	161,854
22	29,423	50,265	8,186	82,726	170,600	1,588	172,188
23	16,751	24,471	5,677	80,507	127,406	1,531	128,937
24	43,963	74,670	10,157	89,157	217,947	1,295	219,242
25	42,117	76,400	7,736	80,302	206,555	3,056	209,611
26	32,470	60,390	8,280	87,800	188,940	12,098	201,038
27	40,793	121,248	14,782	85,817	262,640	1,774	264,414
28	28,147	75,519	9,060	92,985	205,711	2,286	207,997

(注) 所蔵品展示室の観覧者数には、企画展観覧券で入場した者も含む。

「県民ギャラリー等」には、講堂、多目的ホール、庭園などの貸館事業による利用者を含む。

「移動美術館等」には、スクールミュージアム、館外でのワークショップ、出前講座の参加者を含む。